

電源投入後のキー入力について

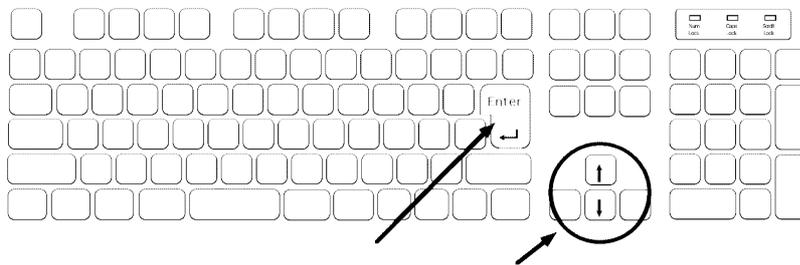
1. 電源投入後

画面上には右のような画像が表示されます。

画面左下の「Vine Linux 3.1」と書かれた部分の白黒反転表示を確認して、Enter キーを押します。もし表示が「WindowsXP」を指していた場合、矢印キー   で「Vine Linux 3.1」に切り替えて、Enter キーを押します。



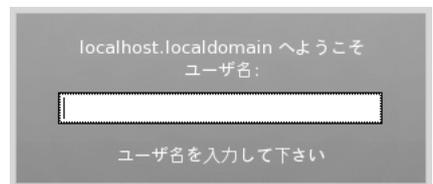
矢印キーと Enter キーの位置：



2. ユーザ名とパスワードの入力

数十秒の時間が必要ですが、さまざまな文字表示が流れていった後に、画面上には右のような表示が出ていていると思います。

ここに自分のユーザ名（恐らく g123456 のようなもの）を入力します。まず白く抜けている記入欄にカーソル（|）があることを確認し、キーボードを一文字ずつ押してユーザ名を入力します。カーソルがない場合は入力できません。マウスポインタ（)を記入欄に移動させ、記入欄の上でクリックしてください。打ち間違いは「Back Space」キーで訂正できます。入力できれば Enter キーを押して下さい。

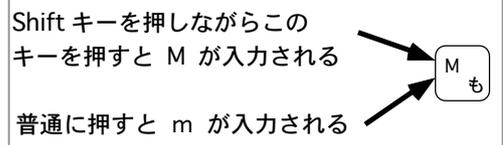


なお、今の段階では数字の入力にはキーボード右側のテンキーは使いません。キーボードの左半分、上から二列目の数字キーを使ってください。

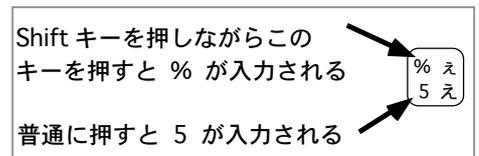
同様の操作でパスワードも入力します。上の作業で Enter キーを押すと、次にパスワードを入力するように表示が変わります。そこで記入欄に今度はパスワード（2dWL#34のようなもの）を入力します。

文字、記号の入力方法：

アルファベットとひらがなしか書かれていないキー、例えば   は、普通に押すと小文字の「m」が入力されます。Shift キーを押しながら入力すると「M」と大文字になります。

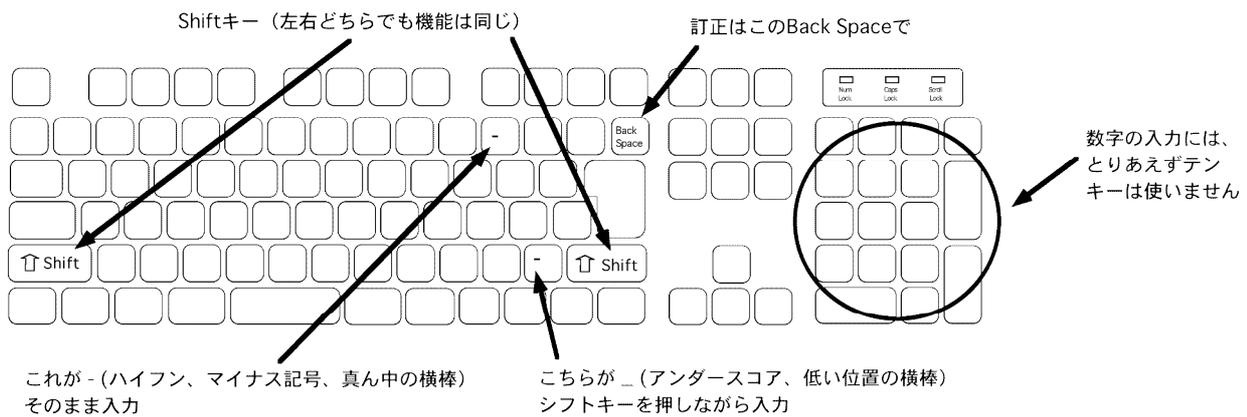


数字が0～9まで横一列に書かれたキー、例えば   は、普通に押すと数字の「5」、Shift キーを押しながら入力すると記号である「%」が入力されます。



パスワードは、他の人に見られないように、どのような文字を入力しても文字は表示されません。もし正しい文字が打ち込めているか自信がない場合は、いったんユーザ名の記入欄にその記号などを入力してみると良いでしょう。確認できたら「Back Space」キーで消しましょう。

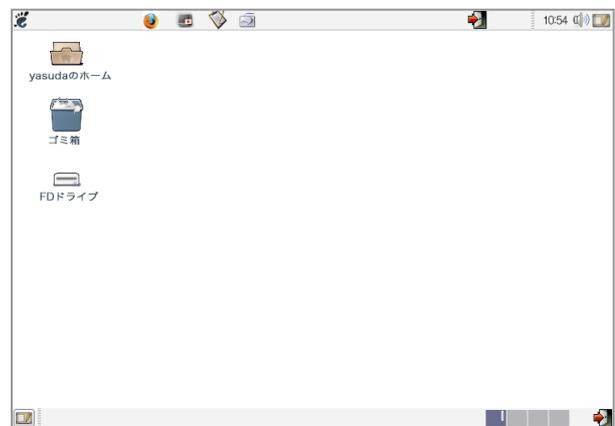
各キーの場所：間違いやすい記号と、Shift キー、Backspaceキーなど



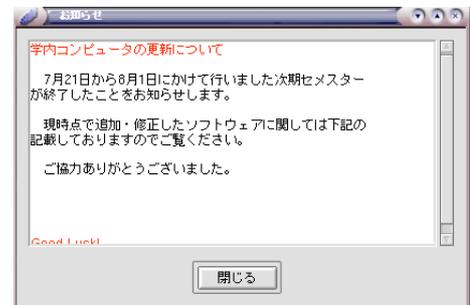
パスワードが入力できたら Enter キーを押してください。
これで Login できるはずです。

Login に成功すると、右図のような画面になっているはずです。

もしそうはならずに、元の画面に戻ったひとは、ユーザ名、パスワードのいずれかを入力し間違えています。もう一度試して下さい。
どうしてもうまくいかない場合は何かを間違えて覚えているか、操作を間違えている可能性がありますので、担当講師（または補助員）に確認してください。



Login 直後の画面に、右図のようなウィンドウが表示されている場合があります。利用者に対するアナウンスが書かれていますので、しっかり読んで、理解するなりメモするなりしてから「閉じる」ボタンをクリックして画面上から消してください。



3. Logout と電源断

作業を終了して電源を切るには、画面右上、または右下隅にある  アイコンをクリックしてください。右図のウィンドウが表示されますので、「ログアウト」ボタンをクリックします。
これで Login 前の状態に戻ります。



そこで再び画面右下にある  アイコン（電源OFFと書かれています）をクリックすれば、もう一段階確認のためのウィンドウが表示されるので、「停止」ボタンをクリックして下さい。



これで電源が自動的に切れるところまで進みます。
画面表示が暗くなり、本体のランプが消えたら正常に終了することができています。